

One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド

(成長型／隔月決算・予想分配金提示型／毎月決算・予想分配金提示型)
追加型投信／内外／株式



※販売会社によっては、一部ファンドのみのお取扱いとなります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(成長型／隔月決算・予想分配金提示型／毎月決算・予想分配金提示型)(以下、各ファンドという場合があります。)(の
実質的な運用は、フィデリティ・インベスメンツの一員であるFIAM LLCが行います。当資料において特段の記載がない限り、フィデリティはフィデリティ・インベスメンツを指します。

成長企業は、見つけた後が重要

ー 成長を継続的に見極めるという投資の視点 ー



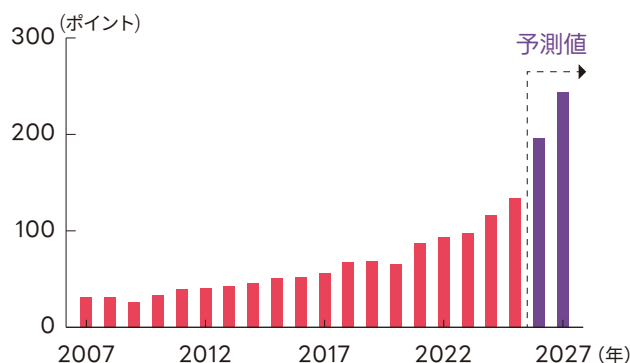
◆ 企業の成長は一直線ではない

成長株投資というと、将来有望な企業を発掘することに注目が集まりがちです。しかし、投資成果を考える上では、企業を見つけることと同じくらい、その後の成長を見極めることも重要です。

市場環境の変化や一時的な業績の鈍化などにより、株価が調整する局面もあります。しかし、そのような局面を乗り越えながら競争優位性を維持し、持続的な成長を実現する企業も存在します。

実際に、米国大型成長株式指数のEPS(1株当たり利益)は、短期的な変動を伴いながらも長期的に上昇してきました。企業の成長には時間を要する場合があります。その歩みは必ずしも一直線ではありません。企業への投資では、日々の株価変動だけでなく、企業の事業成長や収益力の変化にも目を向けることが重要な視点の一つと考えています。

米国大型成長株式指数のEPS推移



※＜左図＞期間：2007年～2027年(年次)、2026年以降は予測値、＜右図＞期間：2009年8月末～2026年6月末(月次)

※米国大型成長株式指数：ラッセル1000グロースインデックス(米ドルベース)

※組入比率は類似運用戦略における純資産総額に対する割合です。2009年8月～2016年1月まではアバゴ・テクノロジーの組入比率、2016年2月以降はブロードコム買収後のブロードコムの組入比率を使用しています。

※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、今後も当該銘柄の組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。

出所：フィデリティ投信、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

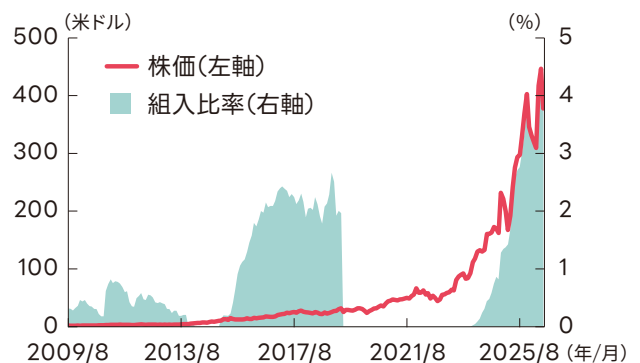
◆ ブロードコムが示す 継続的な企業分析の重要性

各ファンドの類似運用戦略であるフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド(以下、類似運用戦略)の組入銘柄であるブロードコムは、その一例といえます。同社は半導体事業を中心に成長を続けるとともに、M&A(合併・買収)などを通じて事業規模や収益力を拡大し、企業価値の向上を図ってきました。

同社は、前身であるアバゴ・テクノロジーの時代から長年にわたりフィデリティが調査・分析を継続してきた企業です。株価はその間さまざまな局面を経験しましたが、類似運用戦略では、事業環境や成長性を継続的に評価しながら、投資機会に応じて組入れを行ってきました。

成長株投資では、「発掘する力」だけでなく、「企業の成長を継続的に見極める力」も重要な要素となります。短期的な株価変動にとらわれることなく、企業の事業基盤や成長戦略、競争優位性を継続的に評価しながら、その成長を長期的な視点で見極めることが重要と考えています。

ブロードコムの株価と組入比率の推移



上記は、One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド(各ファンド)の類似運用戦略であるフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンドの組入比率を表しています。各ファンドにおける組入比率ではありません。また、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

ファンドの投資リスク(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

各ファンドの基準価額の変動要因には、「**株価変動リスク**」、「**為替変動リスク**」、「**信用リスク**」、「**流動性リスク**」、「**カントリーリスク**」、「**特定の投資信託証券に投資するリスク**」などがあります。

各ファンドの基準価額は、株式市場の変動、為替変動、組入資産の発行者に係る信用状況の変化、市場規模や取引量等により十分な流動性の下で取引を行えない場合、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化、各ファンドが実質的に組入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙等により影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

収益分配金に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)の収益分配金に関する留意事項をご覧ください。

各ファンドには、大口の換金請求に関する制限、購入・換金申込不可日等購入又は換金に係る制限やお客さまの不利益となる事項があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の該当箇所をご覧ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

ご購入時	購入時手数料		購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
	スイッチング手数料		スイッチング時の購入価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	換金時手数料		ありません。
	信託財産留保額		ありません。
保有期間中 (信託財産から間接的にご負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	各ファンド	ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.078%(税抜0.98%)
		投資対象とする 国内籍私募投資信託	ブルーチップファンド*の純資産総額に対して年率0.649%(税抜0.59%)
		実質的な負担	各ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.727%(税抜1.57%)(概算) ※上記は各ファンドが投資対象とするブルーチップファンドを高位に組入れた状態を想定しています。
	その他の費用・手数料		組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※投資対象とするブルーチップファンドにおいては、上記以外にもその他の費用・手数料等が別途かかる場合があります。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

*ブルーチップファンドは、各ファンドが投資対象とするフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)を指します。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

投資信託ご購入の注意

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。●お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●各ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入資産の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。●投資信託は1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】●ラッセル1000グロースインデックスとは、FTSE Russellが公表している米国の株価指数です。「FTSE Russell®」はLondon Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業(総称して「LSEグループ」)の関連する企業の商標であり、ライセンスを受けて他のLSEグループの企業にも使用されています。FTSE Russellのインデックスまたはデータに関するすべての権利は、そのインデックスまたはデータを所有する関連するLSEグループの企業に帰属します。LSEグループおよびライセンス各社はFTSE Russellのインデックスおよびデータに関する瑕疵または不作為に対して如何なる責任も負いません。また、何人も本媒体に含まれるFTSE Russellのインデックスやデータに依存することは許されません。書面に基づくLSEグループの企業の同意がない限りLSEグループのデータを再配信することは許されません。LSEグループは本媒体の内容について販売促進や出資、保証することはありません。

照会先

アセットマネジメントOne株式会社

- コールセンター 0120-104-694 [受付時間:営業日の午前9時～午後5時]
- ホームページアドレス <https://www.am-one.co.jp/>

お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は



アセットマネジメントOne

商号等:アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会